

開催報告

トキと人の共生を目指した水辺づくり座談会 第6回 天王川利活用ワーキンググループ



開催日：2016年2月24日(水)18:00～20:00

場所：トキ交流会館2階会議室

参加者：WGメンバー16名、傍聴7名

「水辺の利活用方法」や「ホタルの生息環境に配慮した計画」 などのWG案がまとまりました！

昨年6月から開催してきたWGでは、「天王川をどのように自然再生したいか」、「自然再生後の水辺をどのように利活用したいか」など計画・利活用の観点で話し合いを進めてきました。

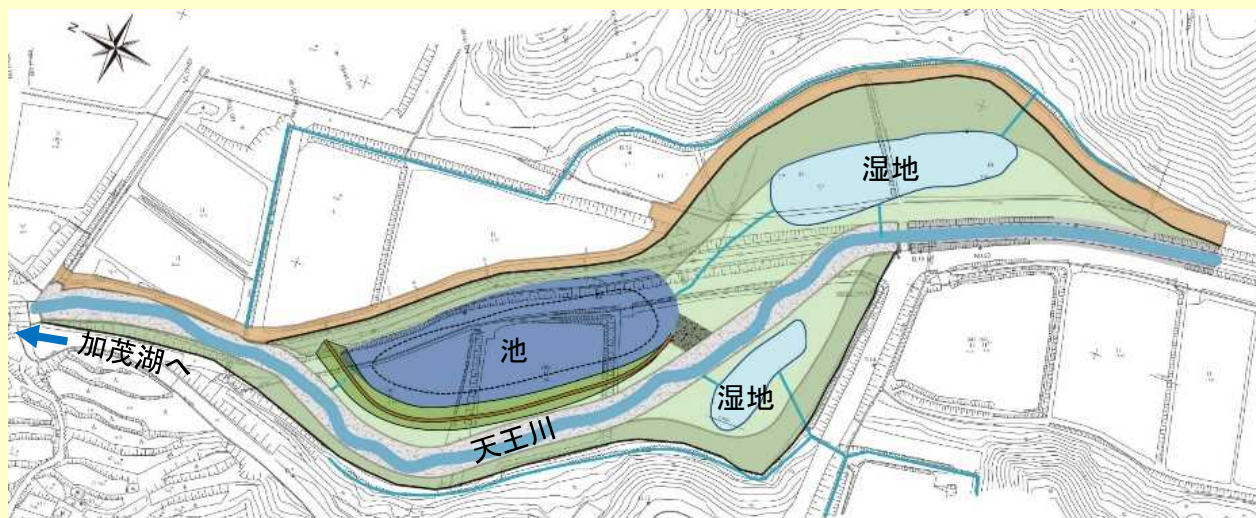
今回は、「ホタルの生息環境に配慮した計画」について、主に生物多様性の観点から話し合いを行い、川を西側の山裾に寄せ、湿地を上流側、池を下流側に配置する自然再生のイメージをWG案として座談会に提案することとしました。

「計画・利活用」のWG案ができました！

【利活用の方針】

- ◆トキの観察ができる場所になったらいいなあ
- ◆子どもたちの野外学習の場になったらいいなあ
- ◆ホタルの舞う水辺になったらいいなあ

【自然再生のイメージ】



ホタルの生息環境に配慮して川を西側の山裾に寄せた自然再生のイメージ

WG案として座談会に提案します。

意見交換会での主なご意見

【ホテルの生息環境に配慮した計画について】

- ・天王川は水が少ないが、湿地はどのくらいの頻度で涸れるか？
⇒ 沢水や地下水などを有効に利用して、涸れないようにしたいと思っている。ただし、夏場の雨が降らない時期には涸れることがあるかもしれません。
- ・子どもたちが生きもの調査を行う上での使い勝手としてはどうか？
⇒ 湿地から池になだらかにつながっているため、生きもの調査もやりやすいと思う。
- ・天王川の流れを変えることになるが、洪水の時に川岸が削られてしまうことはないか？
⇒ 自然再生により川幅を広げることでより水の流れが遅くなるため、川岸が削られにくくなります。
- ・生物多様性の観点、水辺利用の観点などを踏まえると、池を下流、湿地を上流に配置する案が良いと思う。



意見交換会の様子

【治水機能について】

- ・平成10年に発生した水害のメカニズムや浸水範囲を振り返った上で、天王川の自然再生による遊水機能などについて説明しました。（事務局）
- ・潟上温泉の反対側のピオトープを遊水池として有効活用することは考えられないか？
⇒ 地域のみなさまの意向や土地所有者の同意があれば、検討することは可能です。

【今後の流れについて】

- ・これまでのWGで決めた「計画・利活用」のWG案は、今後開催する座談会の場で話し合いを進めていきたい。
- ・また、次回のWGから、「維持管理」の意見交換をさせていただきたい。平成28年4月に開催したい。

天王川利活用ワーキンググループの構成メンバー

- ◆ 地元集落：潟上集落、正明寺集落、田野沢集落
- ◆ 関係団体：佐渡生きもの語り研究所、トキどき応援団、潟上水辺の会、加茂湖漁業協同組合、佐渡島加茂湖水系再生研究所、生樺の自然を守る会
- ◆ 学校関係：伝統文化と環境福祉の専門学校、佐渡市立行谷小学校
- ◆ 行政機関：環境省佐渡自然保護官事務所
- ◇ 事務局：佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市役所建設課、佐渡市役所農林水産課

問い合わせ先 新潟県 佐渡地域振興局地域整備部 担当) 計画調整課 水倉、藤澤

TEL : 0259-74-4040 FAX : 0259-74-2048 Email : fujisawa.masamichi@pref.niigata.lg.jp